

YAMAKADO NEWSLETTER

NO.189

2015/08/27

山門水源の森を次の
世代に引き継ぐ会

山門水源の森現地交流会 139名参加で森賑わう



午後の現地研修に出発する参加者(15/08/09)

PHOTO BY ITO

8月9日滋賀県主催「山門水源の森現地交流会」が開催されました。今回のテーマが「キノコと森の不協和な関係」ということで前日8/8にガイド担当者が下見を行いました。連日35℃を超える猛暑が続く森はからの状態で、例年この時期がキノコの発生種数・個体数とも多いことから8/9を設定しましたが、降雨が少なくキノコの発生は必ずしもよい状態ではありませんでした。8/9は午前中西浅井公民館で玉木えみ氏（イラストレーター）の「きのこたちの素晴らしい女子力」と市原優氏（森林総合研究所）の「森に生きる小さな菌類」の講演がありました。「きのこ」をテーマにしたのは、森の中での菌類のはたらきの再確認といろいろな立場の



大勢の参加者で埋まる会場



玉木氏と橋本事務局長の鼎談



講演中の市原氏

PHOTO BY ITO

人に森に関心を持ってもらえるようにというものでした。玉木氏の話は、森での観察にもとづくものではなく、イラストレーターとしての「きのこ」への思いを表現された（著書）動機が中心で、自然への思い以外の参加者を惹きつけたようです。市原氏の講演は、菌類によって様々な病状を発生する樹木の事例を話され、日頃つい見逃してしまいがちな現象に目を向ける必要性を再認識させてもらいました。講演後は希望者に「ピワマスきのこ弁当」がわりわり力をつけて観察ツアーに出向きました。幸い中学生から研究者まで多様な参加者があり所期の目的は達成されたのではないかと思います。



下見段階にはあったが当日は食害に

ハイカグラテンガタケ



キイロイグチ

防獣ネットの巡視で守られている生物多様性



防獣ネット巡視は毎日の日課
 食害防止防獣ネットは、2010年にミヤコアザミ保護区をかわきりに、2011年に南部湿原、2012年に天然更新試験地、2014年に中央と北部湿原にも設置し、合計6カ所（ササユリの保護には、別に3カ所・ブナ植栽地に1カ所）にもなっています。これらのネットが壊れていないかどうかを毎日森林キーパーを中心に巡視しています。昨年までかなりの頻度でネットの補修をする必要がありましたが、今年は今年の有害駆除のおかげで、ネットが破られる回数は少なくなりました。これまで減る一方だったササも回復しはじめた所も出始めてきました。

しかしシカの食害が皆無になったわけではありません。楽舎横に植栽し今年見事に開花したササユリの株には右の写真のように完全防備の金網を設置しましたが、全て喰われてしまいました。しかも金網は、壊されたり、倒されたりしたわけでは無いのに喰われています。彼らの力が私たちの浅知恵以上だと言うことでしょう。来期は防獣ネットに変更しようと考えています。



どうして喰ったのか分からないササユリ保護の金網(15/08/14)

過日「滋賀県レッドデータブック 2015」の編纂に関わっておられる方が蛾の調査に来られました。その際モウセンゴケを食草にしているモウセンゴケトリバ（体長1mm前後）という蛾を教えてもらいました。幼虫はモウセンゴケの実の大きさと擬態しているように思われます。北部湿原を調査された時同行したのですが、翌日やまかど・森の楽舎の付属湿地で観察すると、沢山の成虫がいることが分かりました。付属湿地の飛び石を



モウセンゴケトリバの幼虫(左)と成虫(15/08/19)



渡り歩くと、小さな虫が飛びますが、モウセンゴケトリバであることが多いです。この小さな蛾をトンボが喰うのも観察出来ました。そんな観察をしている背後でシマヘビがトノサマガエルを捕らえた瞬間を撮ることができました。前号のYAMAKADO NEWSLETTERで、トンボがトノサマガエルの増加で減ったこと、それを和らげるためにトノサマガエルを捕獲し他の場所に移動したことを書きましたが、トノサマガエルを全て捕獲しないのは、付属湿地での食物連鎖を考えてのことですが、それを実証するような光景です。付属湿地のような狭いフィールドでもモウセンゴケ→モウセンゴケトリバ→トンボ→トノサマガエル→シマヘビのつながりが観られるわけです。モウセンゴケトリバは名前通りモウセンゴケが食草ですから、これが無くなればモウセンゴケトリバも生息ができません。幸い付属湿地のモウセンゴケは、ここ数年で株数が随分増えモウセンゴケトリバの生息には好都合かも知れません。一方で増加が他の生きものにトノサマガエルの増加のように影響が及ぶかも知れません。こんな目で森を観ながら保全作業ができるのはとても楽しいことですし、この環境を維持してゆく意義も感じられます。



トノサマガエルを捕らえたシマヘビ(15/08/19)